

2023年の振り返りと
2024年に向けて

河野社長の総括

河野組としての2023年、皆さんはどのように捉えていますか？今回は、社長の声をお届けします。
また、会社としては2024年に向けてすでに走り始めています。社長が皆さんに期待していることも合わせてご覧ください。



代表取締役
河野 雅恒さん

2023年を振り返って 発生させてしまった多くの事故。 反省と再出発に向けた準備を！

前期は多くの事故が発生してしまいました。会社で決めたルールを守らなかったり、個人として横着な部分が出てしまったり、理由はいろいろあると思います。もちろん、どんなに気を付けていても、事故が起きてしまうこともあります。それでも、考え方や取り組み方ひとつで防ぐことができる事故があるはず。安全第一は、建設会社として当たり前のこと。来期に向けて、その意識を高く持って仕事をしてもらいたいというのが一番の思いです。

2024年に向けて 若手の成長と共に、 無事故無災害を目指して！

現場経験の浅い若手ばかりになると、どうしても事故の発生確率が上がってしまいます。それでも「若手が対応していたから、事故が起きて仕方ない」ということにはなりません。新たなルールを設けたり、カメラを付けたりと、会社がやれることはやっていますが、これから鍵となるのは個々の成長だと思えます。たくさんの現場に出て経験を積むこともひとつです。分からないことはどんどん周りに聞いてほしいですし、私に直接連絡をくれても構いません。とにかく「自ら学ぶ姿勢」を持ってもらいたいと思っています。また、私たちの仕事はチームワークが非常に重要です。プライベートの話でも良いので、周囲とは積極的にコミュニケーションを取ってってもらいたいと思います。それこそが無事故無災害への近道となりますし、会社の成長に繋がると考えています。伸びしろ十分の若手の皆さんには、これからも期待しています。



＼社長に聞きたい／みんなの疑問

普段聞くことのできないアレコレを、社長に直接ぶつけてみました。
社長の思いや考えが聞けるチャンスです！これを読めば、あなたの疑問も解決できるかも？

Q 今後、どのような会社にしていきたいとお考えですか？

A 今期から大阪に進出をしたので、そこを軌道に乗せたいというのがひとつ。また、新たな地域で仕事を広げるという上では、営業で3年、現場で5年という意識を持ち、地元の業者とも渡り合っていけるような会社にしていきたいと思っています。

Q 社長自身の、夢や目標を教えてください。

A 今までは現状維持を考えていましたが、今期は売上目標を少し高い位置に設定しました。そのために必要な設備を増やしていくことが目先の目標で、そこから会社を発展させて次に引き継ぎたいというのが、将来的な「夢」になります。

Q 普段の仕事のなかで心がけていること、工夫されていることはありますか？

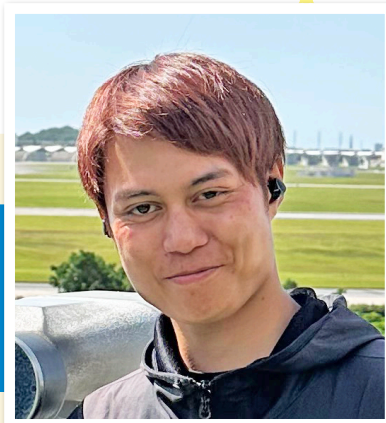
A 班のリーダーには、私自身の代理ということで現場に行ってもらっているので、より厳しく接しています。それに対して、若い子には、なるべく多くの話を聞いてあげるように心がけています。仕事のことだけでなく、プライベートなことまで。関わりたくないのかなと感じたら距離を取りますけど(笑)お悩み相談のようなかたちです。



若い俺に刺さった！ 先輩のあの言動

新人時代、または未熟だった若手の頃に、先輩に言われて学んだこと、身にしみたことはありますか？今回は寺見さんと守谷さんが入社した頃の先輩との経験を伺いました。

工事部
てらみけんいち
寺見 健一さん



ちょこっと自己紹介

出身地 岡山県岡山市瀬戸町
業務内容 基礎工事の段取り
機械の修理、道具の点検
趣味 キャンプ、ツーリング、水中バイク、釣り
アウトドア全般、大好きです

先輩に教わって、ためになった言葉

「事故を起さないことが、仕事では一番大切」

基本的に仕事は覚えるほどに、作業のリスクが高まっていきます。そして、仕事を早く覚えようとする人ほど、パニックになったり、危険なことをしたりして、上の人に怒られます。例えば、クレーンが旋回しているときに、操縦者の死角で下敷きになったり、荷物が落下した

りということになれば、怪我だけでは済みません。速く上手くやることも重要ですが、声かけや目視確認を怠らず、「事故を起さないことが一番大切だ！」と先輩社員の梶野さんに教わりました。今でも私はこの言葉を肝に銘じて、日々の仕事に取り組んでいます。

言葉のとおり実践した結果

仕事を辞めずに、ここまで続けられた

私自身も新米の頃は危ない作業をして、先輩に「この仕事を続けるつもりがあるのか！」と何度も怒られたことがあります。1人のミスは現場全体に迷惑をかけることになります。そのときに「事故を起さないことが一番大切だ！」という言葉思い出さず、この仕事を辞めずに続けることができました。人生には上りもあれば下りもあります。苦しくても上り続けられれば、いつか下りが見えてきます。後輩

が入ってくるまでには、この言葉の意味をきちんと伝えられる人間に成長したいと思っています。



慣れてきた時期こそ、
安全意識を持つことが重要だと
学ばれました！

工事部
もりたに しげる
守谷 茂さん



ちょこっと自己紹介

出身地 岡山県倉敷市
業務内容 橋を支える橋脚基礎の杭打ち、
現場での機械操作
趣味 スポーツカーのレース観戦と車いじり

先輩に教わって、ためになったこと

言葉ではなく、先輩の背中を見て習得

私が入社した19~20年前は、今は時代が違うため、先輩が直接手取り足取り教えてくれることはありませんでした。「あれをやって」「これをやって」と矢継ぎ早に頼まれる中で、先輩の背中を見て必死で覚えました。とにかく見て実践して、失敗したり間違っていると指摘を受けたりしながら試行錯誤を重ね、身に

つけたという感覚です。

また、当時は道具の呼び方が一般的な名称とは違いました。たとえば「ハンマー」のことを「せつとう」と呼んでいました。呼び方は先輩に教わりましたが、今の若い社員に「せつとう」と言ってもまったく通じません(笑)

言葉のとおり実践した結果

作業中の怪我也ミスも減少し、効率もアップ

先輩の技術を見て習得するにつれ、怪我をしにくくなりました。ミスも減り、仕事の効率も上がったように思います。新人時代に3~4人いた先輩たちの背中を見て学んだからこそ、今の自分があるのだと思います。



事故ゼロ、怪我ゼロのためには
まず先輩の真似から！

俺の出張飯

今回「現場メシ」をご紹介いただくのは工事部の森田さん。とろとろカレーライスに、ぐつぐつ煮込みうどん……。想像するだけでお腹が空きます！おいしいだけではなく、お店の方の人柄にも心が温まります。

おすすめの飲食店 厳選2店！

工事部 森田 和明さん

鳥取県「とらや旅館」のカレーライス

鳥取県にある「とらや旅館」は、25年ほど前から通い続けている名店です。金曜日にはハンバーグとカレーライスが交互に出るのですが、そのカレーライスが絶品です！何の具が入っているのかわからないくらいにしっかりと煮込まれたとろとろのカレーで、味わい深さがクセになります。女将さんはとても愛想の良い方で、女将さんとの会話も、楽しみのひとつになっています。

岡山県「なるこや」の味噌煮込みうどん

岡山インターを600mほど北へ上ったところにある、「なるこや」といううどん屋もお気に入りのお店です。おすすめは何と言っても味噌煮込みうどん。とにかくとてもうまい……！35年ほど前から通っています。最初は街のパチンコ屋の駐車場にあったのですが、15年ほど前に現在の場所に移転しました。大将と奥さんの人柄の良さも魅力的で、私のようないかつい男にも優しくしてくれます(笑)

